

2TW・2CW 第4期介護実習を終えて…

「多職種連携」の持つ意味

総合福祉学科 海野 李澄

私は今回の第4期実習で「多職種連携の大切さ」を学びました。今回対象者に選ばせて頂いた利用者様は「座位の際に左に大きく傾く」方でした。傾く原因が明確になれば支援方法が明確になり、傾くことがなくなるのではないかと考えました。しかし、そこに対する支援は「PT(理学療法士)」や「OT(作業療法士)」の領域になり、「介護福祉士」にできることがあるのだろうか…と疑問を持つようになりました。そのため、「傾きの改善」ではなく「傾きがある中でどうしたら生活がしやすくなるのか」に着目する必要性が大きいのだと気づくことができました。傾きの改善に着眼し支援を行うと、改善されるまでの期間は辛い姿勢で生活しなくてはなりません。その支援は「リハビリテーション」を主とする職種が行い、生活を支援する我々は「リハビリテーション内容をどのように生活にリンクさせ、その人らしさを引き出せるか」といった視点で支援していく重要性を感じました。



専門的にすべきこと、専門職ができることを明確にし、多職種連携を図る重要性を今回の第4期実習で学ぶことができました。来年度は第5・6期実習があります。今回の学びを来年度にもつなげていけるよう努力を続けたいと思います。

『自信』を持つことの重要性

介護福祉学科 増田 椋架

私は第4期実習で「昔の仕事に触れるレクリエーションを行うと、生活歴を深く知ることができ、生活の楽しみに繋げられる」と学びました。私が対象者にさせて頂いた利用者様はオルゴールを作り販売する仕事をしていた方でした。「木製品で何かを作りたい」と仰って下さったため、今回は「木を使った時計のレクリエーション」を提案させて頂きました。対象者様は木を扱っていたため「木を滑らかにする程度に塗ればいいよね」と提案して下さったり、「これはここでいいかな」と言葉にしなが積極的に参加して下さいました。この関わりを通して「誇りを持っているものについての話をしたり、実際にそのものを使ったレクリエーションを行ったりすることで『自信』を持って頂くことができるのではないかと考えました。そして、『自信』を持つことで日々の生活意欲の向上につながり、その人らしい生活が送れるのではないかと考えることができました。今回の実習が介護実習最後の実習となりました。第1期から4期実習での学びを来年度からは現場で活かせるように、振り返りと知識、技術の定着に努めていきたいと思っています。



ライブハウスのイベントで  
音響・照明・バンド演奏をしました

映像・音響デザイン学科 2年 高橋 秀和

卒業研究で自分たちのグループは、ライブハウスで音楽ライブを企画、演出を行いました。その中で私は照明を担当しました。照明に関しては全く知識がありませんでしたが、学校の照明機材を借りて色の組み合わせ方や色を変えるタイミング、調光卓の使い方などの練習を行いました。

イベント当日、実際に曲に合わせて行ってみると、タイミングがうまくつかめず思い通りに演出することができませんでした。事前に曲をたくさん聞きこんでおけば、その曲に合った照明の演出ができ、ライブ会場にいる人たち全員が満足できるような演出ができたと思います。

今回のイベントで照明、音響と課題をたくさん見つけることができました。来年1月にも今回と同様にライブスタッフとして参加するので、今回の反省を踏まえてライブ中をイメージしながら照明プランを立てて望みたいと思います。

映像・音響デザイン学科 2年 榎原 裕花

11月17日に、自分達で企画・演出をする音楽ライブを行いました。私はそのライブのPAをやりました。授業でミキサーの使い方は学びましたが、実際のイベントで操作をしたことがないので開始前は不安と緊張が重なりました。

また、今まで学校のミキサーで慣れきっていたので、ライブハウスのミキサーに慣れるまで時間がかかり大変でした。

本番では、リハーサルを行ったバンドは各音量のバランスをとることが出来ましたが、リハーサルを行わないバンドは何もチェック出来なかったため、音のバランスが上手く取れませんでした。その他にもステージの転換にも時間がかかってしまい、いろいろな確認不足だということを実感しました。今回のイベントは自分の中でいい経験となりました。1月にもまたPAに従事させて頂いただけの機会があるので今回の反省を生かして、次は成功させたいです。



- Fly to the future -

Daisy Walkers / CARRY MY SUNSHINE /  
長崎水鏡 / JUNK SEA CLOCK  
×  
専門学校静岡電子情報カレッジ

2018/11/17(Sat) 16:30 OPEN  
17:00 START  
前売 1,000 yen 当日 1,500 yen  
(1ドリンク込み)  
LIVE BAR FREAKY SHOW

イベント告知のフライヤーも  
学生が作成しました☆

新任教職員の紹介

総合福祉学科 教員 井川 真世

今年の9月より、本学にて社会福祉系教員として勤務させていただいております。「井川真世」と申します。

私は、中学校で教員をしておりましたが、祖母の認知症発症を機に介護・福祉に興味を持ち、一から勉強しようと社会福祉士資格を取得しました。その後、特別養護老人ホームでの生活相談員や小規模通所介護施設での相談員、施設長、居宅介護支援事業所でのケアマネ業務等10年以上福祉業界の現場で働いてきました。

私のモットーは『笑顔の輪を広める架け橋になる！』ことです。ご利用者様、ご家族様、職員、そして自分自身がどうすれば笑顔で過ごせるのかを考えてきました。自分自身の経験と専門的な知識が、皆さんの夢への架け橋に繋がるよう、力が発揮できればと思っております。一緒に笑顔のプロを目指しましょう！よろしくお願いたします。

経理事務 海野 優子

皆様、はじめまして。9月18日より勤務しております、海野優子と申します。経理事務を担当します。よろしくお願いたします。

情報系の専門学校を卒業し、食品メーカーの事務に約20年勤務していました。“学校”に足を踏み入れるのは実に20年ぶり。学校運営に携わるのも初めてですので、勝手の違うことばかりで戸惑いもありましたが、教職員の皆様に助けられ徐々に(やっとな?)慣れてきました。

学生時代は勉強漬けの毎日で大変ですが、自分は社会に出てから“もっと勉強しておけばよかったな”と切に思うことがありましたので、皆様には是非、自分の武器になる知識や資格を沢山取得していただきたいと思えます。勉強ももちろん大事ですが、友人と過ごす時間も社会に出ると少なくなります。友人との時間も大切に、様々なことにチャレンジしてください。応援しています！

インフルエンザ予防をしましょう

- ・こまめに手洗い、うがいをする
- ・十分な睡眠、バランスの良い食事を心がける
- ・室内の適度な湿度(50~60%)を保つ
- ・なるべく人込み、繁華街への外出を控える
- ・予防接種を受ける



## 平成31年度学生募集

## 後期AO入学選考エントリー受付中

企画広報室 松本 郁世

だんだんと寒い日が多くなり、街ではイルミネーションの準備が始まり、『師走』のおとずれと共に今年もあとわずかとなりました。

さて、皆さんの後輩である来年度の入学者が続々と決定しています。

また、**後期AO入学選考のエントリーも開始されました。**皆さんの中にもアドミッションポリシーに共鳴し、「ぜひ中村学園で学びたい！」とAO入学選考での受験に挑戦し、合格を勝ち取った方も多くいるはず。高校の後輩や兄弟姉妹等で電子情報系統や福祉医療系統を希望している方がいらっしゃれば、是非、オープンキャンパスへの参加、後期AO入学選考を勧めていただければと思います。

今年度も入学者の中には、オープンキャンパス等で在学生の皆さんと触れ合い、「この先輩のように楽しく充実した学校生活を送りたい！」と希望をもった方もいたようです。高校生にとって、年代の近い皆さんの話は新鮮で、とても参考になっているようです。さらに皆さんの後輩が増え、中村学園が今以上に盛り上がり続けることを願い、12月以降もオープンキャンパスの開催を予定しています。

皆さんが今こうして中村学園で活躍できるのは、ご自身の努力や、ご家族の応援そして、学校を盛り上げ続けてくれた先輩方のおかげでもあります。皆さんが『建学の精神』『校訓』『教育方針』を体現し、成果を上げることは後輩の励みにもなります。就職活動や学校生活を各自がんばって、みんなで中村学園を盛り上げていきましょう！

## ◆後期AO入学選考

【A日程】 年内に進路を決める！

エントリー期間：～12月15日(土) 15:00

他の日程は3月22日(金)15:00までエントリー受付

## ◇第2回入学選考

12月15日(土) 出願〆切：12月14日(金)15:00

《特待生・一般・自己推薦・社会人・留学生 選考》

他の日程は3月28日(木)15:00まで出願受付

## 🎧オープンキャンパス ※日程の都合がつかない方は個別対応します

12月8日(土) 13:15～

1月16日(水) 17:00～ 以降、随時開催♪

## 🎧学校学科・入試説明会・小体験授業

※日程の都合がつかない方は個別対応します

12月3日(月) 17:00～

1月25日(金) 17:00～ 以降、随時開催♪

## 島田ゼミの“三種の神器”に学ぶ

進路室長 橋野 幸男

今、「タレント・エコノミスト」で静岡県民や学生に身近な人と言えば、伊藤元重氏(本県出身の国際経済学者。「静岡新聞」第2面『論壇』の執筆メンバー)や、森永卓郎氏(昨年8月、静岡新聞「新卒のかんづめ2019」主催の『就活スタートダッシュ!セミナー in 静岡』に登壇)でしょうか。その「タレント・エコノミスト」の草分け的存在が、現在、公立大学法人・理事長を務める島田晴雄先生です。先生はかつて、大学教授(労働経済学)の傍ら、政府の審議会・調査会などのメンバーに数多く就任し、特に橋本内閣では「沖縄県における米軍基地所在市町村の将来の振興に関する官房長官の私的懇談会」座長として、数十回にわたり同県を訪問、その振興に尽力なさいました。そうした中、「沖縄アクターズスクール」校長のマキノ正幸氏(安室奈美恵さんの才能を見だし、特待生として育成)と知り合い、共著『オンリーワン～ひとりひとりが地球上で唯一の個性～』を出版しました。

前置きが長くなりましたが、同書の中に「島田ゼミの“三種の神器”」というのが出てきます。先生が担当するゼミナールでは学生が企業ヒアリングにたびたび出かけるのですが、その際には「3つのもの」を持たせていた、という話です。以下、同書から引用します(「…」は、中略)。

一 **名刺、印鑑、はがき。**これは、若い学生に**責任感と感謝の心**を持ってもらうためにやっています。名刺の意味は、…学生は現れても帰ってしまえば、連絡のしようがないんです。これでは、責任感というものが理解できない。ですから名刺を持たせて、必ず自分が何者であるか、どこへ連絡すれば連絡がつくのか、これを覚えさせるわけです。

印鑑というのは、もうこれは逃げも隠れもできない自分の意思決定、行動に対する責任ですから、これを持たせる。

はがきは、まずお礼を出すために使います。お礼というのは何かをしてもらったときに、**3行だけでも書けばいい**ですから、…その日のうちに書きなさいと言っています。

**結局、挨拶がきちんとできる、約束は守れる、責任感を持って仕事をする。**それは人間として、社会人として当然のことではないか、これは最低限のルールです。一

今ならば、「はがき」の代用として「Eメール」を活用することが多いでしょうか。また、「名刺」については、こんな例を思い出します。東京・吉祥寺のある女子大学では、就職活動を行う学生全員に名刺を持たせていました。その裏面には、学生の「キャッチフレーズ」が印刷してあります。自分の特性をキャッチフレーズ化できるレベルまで学生に「自己分析」を徹底させ、同時に、訪問先企業に学生を印象付けよう、という意図です。

私が担任を担当したクラスでは、これを真似て、「自分のキャッチフレーズづくり」を行ったり、学生個々が就活用名刺を制作したりしていました(ちなみに、ある企業の「エントリー・シート」[A4・1枚]で、「1行目にあなたの“キャッチフレーズ”を記載しなさい。その“キャッチフレーズ”を説明するという書き方で、あなたの『自己PR』を展開しなさい」というのを見たことがあります)。また、企業訪問から次の日程まで日数がある場合には、必ず「お礼状」のはがきを送っていました。

これから、「2020卒予定者」に向けた業界団体等主催のイベントが、相次いで開催されます。先輩たちが参加したものを例示すれば、静岡情報産業協会の「就活準備イベント」、東京・大阪で開催される「ゲーム×IT業界フォーラム～業界研究&インターンシップ～」、放送・映像音響・舞台等関連の企業説明会「Art & Creative」、等等。先日、インターンシップ応募等で使用するためにセンスのいい名刺を作成している学生がいました。皆さんも、上述のようなイベントで自分を印象付ける工夫をいろいろと試行錯誤してみましょう。面接・面談等で「ああ、あの時の…」と言われたという話をよく聞きます。



## 12月の行事

1日(土) 3TW第5期実習(～28日)

視能訓練士全国統一模試

2日(日) ORT 臨地実習Ⅲ(～1/12)

3日(月) 学校学科・入試説明会 17:00～

5日(水) 1CP 保育所職場体験

8日(土) オープンキャンパス 13:15～

9日(日) 福祉 海外研修修学旅行:グアム(～13日)

15日(土) 第2回入学選考

20日(木) J検CBT

23日(日) 天皇誕生日

24日(月) 振替休日

25日(火) 防災訓練(PM)

